

平成29年度 4事業合同成果報告会 プログラム

健やかな未来への戦略

～ 研究者からのメッセージ ～

日時：平成30年2月13日(火) 13:00～18:00

場所：イノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング)

※プログラムは当日までに変更となる可能性があります

※下記はAMEDにおける委託研究開発課題名であり、当日のタイトルとは異なります。

【講演】

13:00 - 13:10	開会挨拶		
	主催者挨拶		
	来賓ご挨拶		
13:10 - 14:47	【市民向けセッション】		
	プログラム・スーパーバイザー	春日 雅人	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業 事業概要
	大阪大学	樂木 宏実	糖尿病・耐糖能異常におけるサルコペニアの実態調査とリスク因子の抽出
	プログラム・スーパーバイザー	相川 厚	腎疾患実用化研究事業 事業概要
	筑波大学	山縣 邦弘	慢性腎臓病(CKD)進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究
	プログラム・スーパーバイザー	北村惣一郎 小寺 良尚	免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)事業概要
	東京都立駒込病院	垣花 和彦	同種造血幹細胞移植患者における、ステロイド抵抗性/依存性腸管急性移植片対宿主病(GVHD)に対する便微生物移植の有効性を検討する第II相多施設共同研究
	国立循環器病研究センター	福嶋 教偉	臓器移植後成績向上のための、脳死臓器提供におけるドナー評価・管理システム・ガイドラインの作成
	プログラム・スーパーバイザー	眞下 節	慢性の痛み解明研究事業 事業概要
	東京医科歯科大学	宗田 大	変形性膝関節の疼痛における関節周囲由来の疼痛に着目した新規保存療法の有効性に対する基礎的・臨床的エビデンスの構築
14:47 - 14:55	休憩		
14:55 - 16:10	【講演 I】免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)、慢性の痛み解明研究事業、腎疾患実用化研究事業		
	北海道大学	豊嶋 崇徳	移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間HLA半合致移植法の開発研究
	慶應義塾大学	岡本 真一郎	本邦における同種造血幹細胞移植の最適化を目指した移植医療体制の確立と国際的視点からのHarmonizationに関する研究
	大阪急性期・総合医療センター	後藤 満一	医療の質の向上及び効率化に向けた、肝移植手術におけるリスクモデルの作成とエビデンスの創設
	大阪市立大学	中村 博亮	予後不良因子を有する骨粗鬆症性新鮮椎体骨折への効果的で効率的な低侵襲外科的治療法の確立-多施設前向き介入研究-
	金沢大学	和田 隆志	糖尿病性腎症の進展予防に向けた病期分類-病理-バイオマーカーを統合した診断法の開発
16:10 - 16:20	休憩		
16:20 - 17:50	【講演 II】循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業		
	京都医療センター	和田 啓道	簡便な新規心血管イベント予知マーカーによる効率的なハイリスク患者抽出方法の確立
	自治医科大学	鈴木 亨	慢性炎症を基盤とする心血管病態モニタリングマーカーの開発と臨床導入の実現-慢性炎症の制御に着目した創薬のための新たなバイオマーカー開発-
	北海道大学	安斉 俊久	循環器緩和ケアにおける診療の質評価に関する研究
	九州大学	飯原 弘二	脳卒中を含む急性循環器疾患の救急医療の適確化をめざした評価指標の確立に関する研究
	関西電力病院	清野 裕	糖尿病腎症の重症化予防に向けた栄養指導の方法とその効果に関する研究
	名古屋市立大学	植村 明嘉	マクロファージを標的とした糖尿病網膜症の抗体医薬開発
17:50 - 18:00	閉会挨拶		
	主催者閉会挨拶		

【ポスター発表】

14:55 - 16:10	【ポスターセッション I】		
	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業		
16:10 - 16:20	休憩		
16:20 - 17:50	【ポスターセッション II】(三つの事業を並行して行います)		
	腎疾患実用化研究事業		
	免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(移植医療技術開発研究分野)		
	慢性の痛み解明研究事業		